

こうや きよし

県政レポート

立憲民主党民権クラブ県議団保土ヶ谷区版



新年明けましておめでとうございます 今年も変わらぬご支援を宜しくお願いいたします

今年には平成から新しい御代に代わる〇〇元年となります格別の新年明けましておめでとうございます。

私にとっても代議士秘書から始まって半世紀も続いた政治生活から卒業し、余生生活に入るといって正に世紀が変わる新年を迎えました。

政治とは社会の為になる、成らなければならぬと頑張ってきたつもりです。

NPO法人「わかちあい隊」は昨年横浜市から承認を得ておりましたが、私の怪我による長期入院で活動を中止していましたが、すっかり元気になりましたので、県議引退を機に四月から活動を始めることにしました。

未だまだ働ける方々の協力を仰いで、身体の不自由な方や、家の身の回りや買い物などで困っている人のためにお手伝いをさせていただこうというNPOです。

神奈川県が主導する「ともに生きる」を仲間と実践しよう！というわけです。

何方でもご参加できますしご利用できます。どうぞ宜しくお願いいたします。

今年一年が皆さまにとって最良の年となることを祈念してごあいさつとさせていただきます。

平成三十一年 元旦

神奈川県議会議員
高谷 清

新春初詣

〇1月28日(日)

〇身曾岐神社(ゆず神社・山梨)

〇会費 8,500円

清里高原ホテルにて昼食
※バス1台、先着順です。
申し込みはお早目に

こうや清の有難や節 (一部)

有難や 有難や 有難や 有難や
支えてくれた30年 浮き沈み30年
苦しい時には励まされ
嬉しい時には抱き合った
有難や 有難や 有難や 有難や

有難や 有難や 有難や 有難や
平成の御代は最後です
次の時代の幕開けだ
親父身を引き息子の憲が
明日の時代を切り開く
有難や 有難や 有難や 有難や

いつまでもお役に立ちたい！ 4月から「わかちあい隊」で再出発

十二月二日、イズミ産業「弘美」で高谷県議の現職最後となる忘年会が盛大にかつ賑やかに行われました。

「三十数年間活動できたのも偏に皆さまの支えがあったればこそ！」と感謝を述べた後、会場に響き渡る歌声や力強く優雅な日本舞踊を堪能した後、高谷議員自作の「有難や節」を参加者全員で大合唱し盛り上がったところで、あとはお待ちかね・抽選会。

今年には特に商品数(高価なものも数万円もするコート)も多く全員が漏れなく当たるとあって大フィーバー！今までのない明る

現役最後の忘年会 盛大に開催！



万感の思いで三十数年の感謝を述べる高谷清。(隣は市会議員に挑戦する倅の憲「県会ではなく市会ですが親父同様に私もよろしく頑張ります」とあいさつ)

く楽しい忘年会、「議員は辞められて高谷は高谷、来年も又やろう！」と名残惜しそうに閉会しました。

県警本部 交番整備計画の現状と今後の方向性について策定作業

第3回県議会閉幕

補正予算案など審議する一月二八日から始まった第三回定例県議会の後半が一月二二日終了しました。

会期中県警から今後の交番等の整備計画策定に当たっての現状と方向性について報告を受けました。

交番数を二割削減

473か所の交番等の407か所が建築後20年以上経過のうち、40年以上経過は136か所。全交番等を更新するのに200年以上かかる。

県からは県の施設整備の方向性と2年後から県人口が減少、30年後には現在より100万人減少するという予測がでています。このような人口動態や自治会活動区域、客観的必要性等



交番等施設の整備状況

	10年未満	10年以上	20年以上
交番	36	146	80
駐在所	2	19	38
	30年以上	40年以上	50年以上
交番	101	96	14
駐在所	52	26	0

に鑑み、交番等の集約化、総数を2割程度縮減しなければならぬ。

以上のような現場警察にとつては厳しい報告を受けましたが、高谷県議は「地域住民にとつて落し物や各種相談等安全・安心の拠り所である交番、駐在所は時代は変わってもその役割は変わらないはず。統廃合される地域では交番に代わる移動交番的な働きも担うパトカーの効果的な運用をより一層図るなど十分な話し合いをし、ご理解を受けるよう注文を出しました。」

地域密着即戦力

こうや憲

介護の現場 17年！
消防活動 10年！
政治の現場 15年！

保土ヶ谷を愛する会結成し、無所属で

こうや憲、市会に挑戦！

8つの政策を提言 代表 こうや憲

乳がんを横浜撲滅する！

現在40歳以上の女性市民を対象に2年に一回できる乳がん検診を安くを発売し、財源にあて20歳から毎年受診に拡大します。

原発に頼らないエネルギー社会！

再生可能エネルギーの更なる普及に努め、現在の「省エネ改修」補助制度で設定されている上限を撤廃し、誰でもいつでも助成が受けられるようにします。

中学校給食の早期実現

中学校給食を実施していないのは政令都市では横浜だけ、しかも現在のハマ弁制度は無駄遣いが多い。拠点校に給食室を作り、近くの中学校にも給食を配送するようにして中学校給食を実現します。

持続可能な介護社会の整備！

2025年には団塊の世代が後期高齢者となります。目まぐるしく変わる制度に被介護者も介護者も現場は悩まされています。お互いが十分満足できるような持続可能な介護環境の整備に努めます。

議員定数削減など身を切る改革の実現

現在の市会議員の定数は86名。各区1名ずつ、18名の削減、20%報酬、政務調査費削減で議員一人一人の意識改革で4億5千万円もの税金が削減できます。

災害に強い保土ヶ谷！

消防団員としての防災訓練から学んだ優れたもの、初期消火に役立つ「スタンドパイプ」を各町内会に設置を進め、市民一人一人の防災意識を高め、いつ来るか解からない災害に強い地域を目指します。

虐待防止と不妊治療助成の拡大

地域や行政でもっと積極的に子ども達を守る必要があります。病院や学校からの通報システムの整備、児童相談所の権限強化、警察の緊急保護など今ある大切な命を守ることが急務です。また、子どもを授けられない夫婦への不妊治療助成制度拡大に努めます。

横浜にカジノは必要ありません！

山下埠頭にハーバーリゾート形成の一環としてカジノ誘致の話があります。カジノについてはギャンブル依存症の恐れや治安悪化の懸念がされ、経済面でのプラス効果もまだ定かではありません。現に世界でもカジノの町がスラム化し荒廃しているところが多々あります。私は横浜にカジノはいりません。

◆プロフィール◆

- ・昭和48年生まれ、45歳
- ・上菅田中卒、日大高校卒、中大法学部卒
- ・平成9年 東京三菱ふそう(株)
- ・平成13年 福祉用具専門相談員 取得
- ・平成28年 ケアマネージャー 免許取得
- ・現在 福祉用具販売 (有)ドリームアップサービス社長

